

12月(6日)

日本海側初の国際機関 NOWPAP本部事務局を富山県と 韓国・釜山に共同設置

■NOWPAP(北西太平洋地域海行動計画)の本部事務局が富山県と韓国・釜山に共同設置される運びとなりました。昨年十二月に東京で開かれた第六回政府間会合において合意されたもので、日本海側で初めての国際機関となります。

■NOWPAPは、国連環境計画の提唱に基づき、日本海および

黄海の環境保全や資源管理等を目的として、日本、中国、韓国、ロシアの四カ国により取り組まれています。参加国には、それぞれ活動拠点となる地域活動センターが指定されており、日本では、本県が中心となって設立した(財)環日本海環境協力センターが特殊モニタリングと沿岸環境評価を担当する地域活動センターに指定さ

れています。NOWPAP本部事務局は、NOWPAP全般の活動の調整などを担うもので、本県は、早くから誘致を表明し、その実現に向けて取り組んできました。

■ナホトカ号油流出事故に代表されるように、日本海の環境変化は、私たちの生活に大きな影響を及ぼします。日本海から様々な恩恵を受けている本県にとって、NOWPAPの活動は今後ますます重要になってきます。また、国際機関が設置されることにより、富山の国際的な認知度が高まり、国際都市への新たなステップにつながるものと期待されます。

●問合せ 県庁日本海政策課
076(444)9611

国連環境計画が提唱する地域海行動計画 現在、世界の14の海域で計画を策定済み、または策定中です。

